

2015年7月映画興行部門興行成績速報

7月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

664スクリーン **興行収入** **5,984,790,839 円** **(前年比 126.0%)**

7月主要稼働作品

『ターミネーター:新起動/ジェニシス』『バケモノの子』『ポケモン・ザ・ムービーXY「光輪(リング)の超魔人 フーパ』『アベンジャーズ/エイジ・オブ・ウルトロン』『HERO』『インサイド・ヘッド』『ミニオンズ』『ハイキュー!! 終わりと始まり』『悲しみの忘れ方 Documentary of 乃木坂46』『それいけ! アンパンマン ミージャと魔法のランプ』『海街 diary』『予告犯』『ラブライブ! The School Idol Movie』『マッドマックス 怒りのデス・ロード』『新宿スワン』他

1月から7月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

興行収入 **34,194,371,684 円** **(前年比 102.1%)**

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。